

京都の杉で、自分でつくる椅子

Chair 39

自作する杉の椅子

木材の特性のひとつである、加工の容易さを活かした自作できる杉の椅子。日常的に使用する椅子を使用者自身で製作することにより、木材への愛着を持ってもらう。

身近な材料で

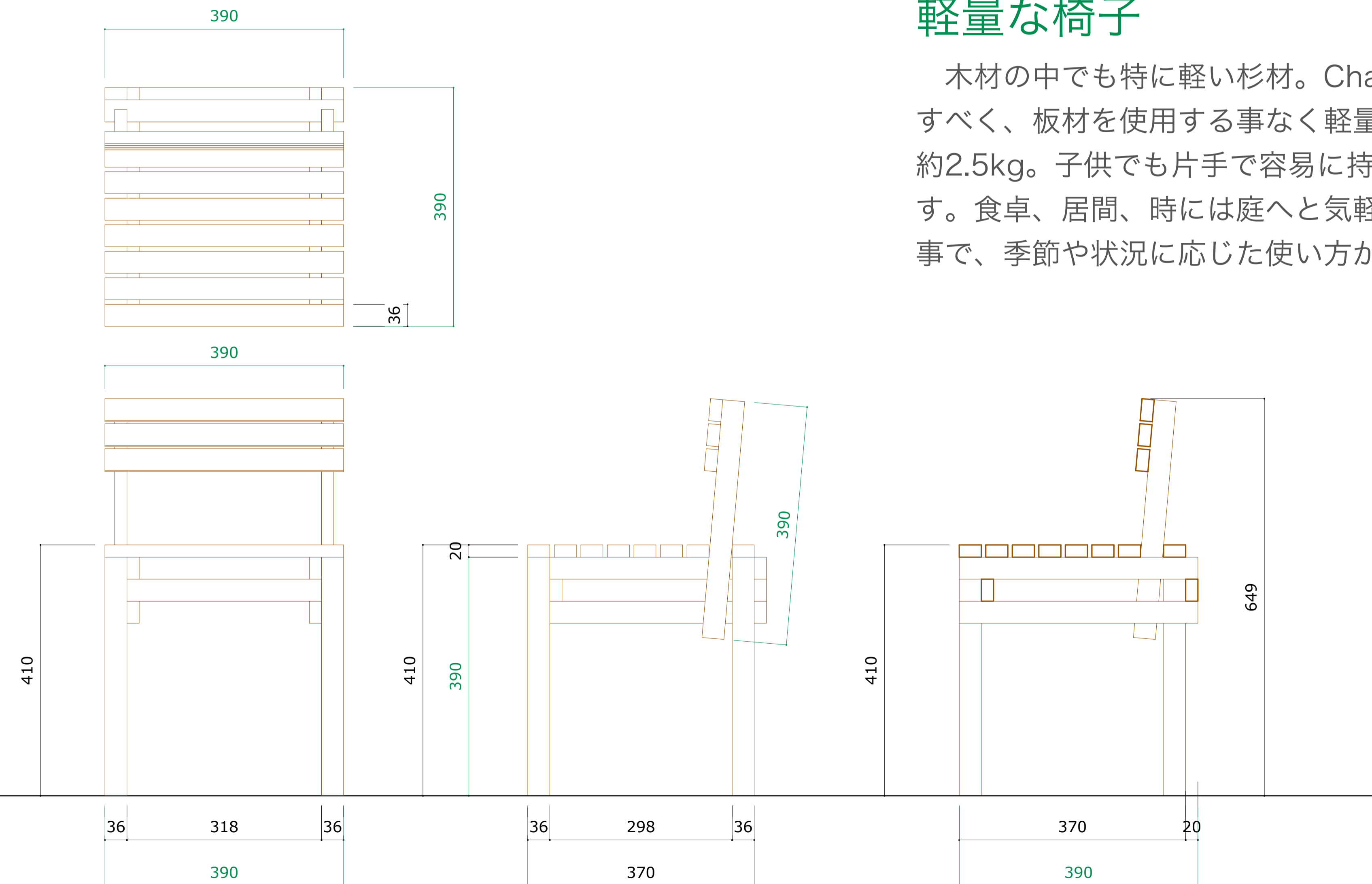
Chair39は初回のワークショップを行った京北の杉で、寸三と胴縁材、2種類の一般流通材のみを使用しています。名称にもある通り、材料の長さは全て39cmに統一されています。この事により、製作者は部材の選定に迷う事なく、下準備も容易に行う事ができます。また、4m材から無駄なく10本の部材を切り出す事が可能です。

使用部材

規格サイズ	長さ	数量
20×36	39cm	19本
35×36	39cm	4本



ワークショップでは親子で3時間ほどで椅子の組み立てが完了



軽量な椅子

木材の中でも特に軽い杉材。Chair39ではその特性を活かすべく、板材を使用する事なく軽量に作られており、重さは約2.5kg。子供でも片手で容易に持ち運びする事ができます。食卓、居間、時には庭へと気軽に椅子を移動させられる事で、季節や状況に応じた使い方が可能です。



小学生を対象としたワークショップでは個性を持たせる為に一部の材を着色しました。